

小樽市中心市街地活性化基本計画の概要

旧計画

1. 中心市街地の位置・面積

■JR小樽駅を中心として概ね商業地域及び近隣商業地域を含む次の区域

- ・南北方向は、南は市道新通線を境として南増地区を含み、北は手宮地区まで
- ・東西方向は、東は臨港線及び北運河を、西は市道新通線及びJR線並びに市道西通線を境とする

2. 活性化の方針

■にぎわいのある交流空間の創出

■活力ある経済活動の促進

■魅力ある都市機能の充実

■快適な都市居住の確保

3. 活性化の目標

■求心性、中心性を高める都市基盤整備の促進

■親しみと魅力あふれる商業機能の強化

■くらしと経済活動を支える業務機能の強化

■まちの活力を生み出す定住人口の回復

■小樽らしさを演出する地域資源の活用

■まちににぎわいをつくり出す交流人口の増加

4. 主な事業

■稲北地区市街地再開発事業

■中央通地区土地区画整理事業

■都通り商店街環境整備事業

■花園銀座商店街環境整備事業

■商店街ポイントカード事業 等

※全体事業52事業 約7割の進捗

5. TMOによる事業

■商店街空き店舗対策事業

■商店街夜のにぎわいづくり事業

■観光集客事業

■都通り商店街環境整備事業

■花園銀座商店街環境整備事業

中心市街地の現状

■居住人口（国勢調査）

S50年 25,365人

↓

H12年 15,545人

↓

H17年 14,726人

※30年で40%減、5年間で6%減

■歩行者通行量（7地点平均）

H13年 5,172人

↓

H18年 4,292人

※5年間で13%減

■空き店舗（空き店舗率）

H14年 50店（7.2%）

↓

H19年 67店（11.1%）

※5年間で17店（率で4%）増

■小売商業販売額

H9年 871億円

↓

H14年 686億円

※5年間で20%減

■観光入り込み客

H13年 893万人

↓

H18年 770万人

※5年間で15%減

旧計画の反省

（目標）

■商業機能の強化を目指したが、市民や観光客の商店街への回遊が十分でなく、また、閉店等により必要な業種が不足した

■定住人口の回復に至らなかった

■交流人口の増大を目指したが、「通過型観光」で「宿泊滞在型観光」とならなかった

中心市街地活性化基本計画

1. 方針

■まちなかのにぎわいを創出する

■まちなかで暮らす

■まちなかで滞在する

■まちなかの歴史的資源を活かす

2. 位置及び区域

■中心市街地の境界
北側…市道西通線、手宮川通線
東側…小樽運河
南側…市道往初線
西側…JR小樽駅、市道新通線に囲まれた区域とする。

■区域の面積

約180ha

■区域図

P38のとおり

3. 目標

①居住者及び来街者の回遊性を高め、まちなかのにぎわい創出及び商店街の振興を促進する

②少子高齢社会を迎え、安心して子育てができ、冬期間でも快適に暮らせる生活環境を整備し、まちなか居住を促進する

③滞在型観光への移行を図り、訪れる観光客等のまちなかでの滞在

④小樽らしい景観の保全・創出や新たな交流・観光拠点づくりを進め、まちなかで歴史的資源の活用を促進する

指標

■目標①の指標

評価指標	現況値	目標値
中心市街地の歩行者通行量	29,627人	31,700人

本市の商店街に居住者及び来街者を回遊させることは、新規業態・業種の導入を促し、空き店舗の解消や販売額の増加、ひいては中心市街地のにぎわい創出につながる。

これを表す指標として、中心市街地の歩行者通行量を用いる。

■目標②の指標

評価指標	現況値	目標値
中心市街地の居住人口	14,455人	15,000人

本市の地形的特徴から、高齢者等が冬期間でも快適に暮らせるためには、中心市街地（まちなか）での居住が必要である。

これを表す指標として、中心市街地の居住人口を用いる。

■目標③の指標

評価指標	現況値	目標値
中心市街地の宿泊客数	438,846人	455,000人

本市にとって観光は基幹産業の一つであり、観光客の入り込みに伴う経済波及効果は多大なものがあり、今後更に増大させるには宿泊滞在型への転換が不可欠である。

これを表す指標として、中心市街地の宿泊客数を用いる。

■目標④の指標

評価指標	現況値	目標値
中心市街地の歴史的建造物を活用した施設の利用者数	3,596千人	4,370千人

本市の財産である歴史的建造物や産業遺産は、本市独自の景観を形成するとともに、観光資源にもなっており、その保全・活用を進めることが重要である。

これを表す指標として、中心市街地の歴史的建造物を活用した施設の利用者数を用いる。

事業

■目標①の事業

- ・小樽駅前第3ビル周辺地区市街地再開発事業（マンション、ホテル）
- ・民間マンション、ホテルの建設
- ・歩行者空間の環境整備
- ・にぎわう商店街づくり支援事業
- ・商店街等での各種イベント開催ほか

■目標②の事業

- ・小樽駅前第3ビル周辺地区市街地再開発事業（マンション）
- ・病院及び高齢者住宅整備
- ・空き家バンク事業ほか

■目標③の事業

- ・小樽駅前第3ビル周辺地区市街地再開発事業（ホテル）
- ・小樽運河浄化対策事業
- ・「潮まつり」「青あかりの路」「ロングクリスマス」等のイベントほか

■目標④の事業

- ・「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり条例」活用事業
- ・旧国鉄手宮線跡地活用検討事業ほか